

「千葉さとやまマラソン」開催における感染予防対策

アースランクラブ

NPO法人日本アウトフィットネス協会

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「千葉さとやまマラソン」の予防対策として関係者が安全かつ安心して参加できるよう、日本陸上競技連盟の「競技会開催について」をベースに協会独自のガイドラインに基づき次のように実施する。

急な変更及び中止を行う場合は、当協会が定める「キャンセル規定」により、参加費と同額のクーポン券の発行か一部返金（協会規定）を行うものとする。

1 基本的な事項

競技運営として種目別にスタートと競技時間を分けて実施し、6時間にわたり12種目を行う。オンコース200人を上限として1日で最大の参加者を700人とする。なお、各種目定員オーバーの場合はリモート種目へ振り分ける。

(1) 事前事項

① 健康観察（主催者側と参加者側）

・大会1週間前から「健康管理表」を参考にして体調の自己管理をやってもらう。「健康管理表」は公式イベントページに掲載

② 以下の方には参加を控えていただくものとする。

- ・体調がすぐれない方（発熱が37.5℃以上、セキ等のカゼに類似した症状）
- ・家族や同僚など濃厚接触者に感染が疑われる方がいる方
- ・過去14日以内に入国規制、入国後の観察機関が必要とされている方
- ・感染国地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある方

③ 上記の方は必ず事務局に連絡、事務局からの指示に従っていただく。

④ 参加者リストを整備し、厳重に保管しておくものとする。

(2) 大会当日

① マスク、受付時に検温、手指の消毒を必ず行う

- ・受付デスクと記録証デスクは透明フィルムシートで隔離する。
- ・当日の受付で体温が37.0℃以上の方はメディアルスタッフの問診を行い、参加できるかどうか判断する。

② 宣誓書の提出

- ・健康アンケートと個人情報に関する宣誓書を提出する。
- ・筆記具は使い捨てを使用する。

(3) 密閉・密集・密接の「3密」を徹底して回避する

① 密閉

- ・更衣室テントは設置しない。そのまま走れるウェアで集合してもらおう。

② 密集

- ・受付は2m間隔をあけて流れ作業で行う。
- ・開会式競技説明会はYouTubeによるonline配信とする。
- ・2列に並んで2秒ごとに順番でスタートしていくショットガンスタート。
- ・給水所は冷水、スポーツドリンク、栄養補助食を3つのブロックに分ける。
- ・ゴール後、手を洗い、間隔をあけて並び、記録証を受け取る。
- ・表彰式は行わない。また、賞状メダルは後日郵送する。

③ 密接（近距離での会話や発声）

- ・全員にマスク着用。競技中も可能な範囲で着用してもらおう。
- ・選手と接触するスタッフはマスクとフェイスシールド着用する。
- ・誘導スタッフはハンディフォンを使用する。
- ・無駄な会話はやめて、大きな声での会話は控えてもらおう。
- ・原則応援者の来場は禁止する。

(4) 大会後（競技後について）

- ① 大会3日後、参加者に一斉メールし、体調に異変があった方には報告してもらおう。「健康管理表」を参考にして大会後14日間の観察をお願いする。
- ② 大会14日後に、大会参加者全員（事務局スタッフと参加者）に最終メールを送り健康状況を確認する。異常がないことを確認して公式イベントページに「無事終了」を発表して本大会を終了する。
- ③ 大会参加者が感染症を発症した場合は、速やかに千葉市と公園管理事務所に報告し、同時に所轄の保健所に報告するとともに保健所に指示に従って感染拡大予防対策に協力する。